

平成30年度 事務事業評価シート (H29実績評価)

事務事業名		2506	歴史・文化資源活用推進事業						
担当所属		653700	教育委員会 文化課						
予算科目	H30	1-100502	一般会計 - 教育費・社会教育費・地域文化振興費						
	H29	1-100502	一般会計 - 教育費・社会教育費・地域文化振興費						
施策	基本構想	03	3 郷土愛を育む教育・文化都市づくり						
	政策	10	10 歴史・文化の継承と振興						
	施策	32	32 歴史文化遺産の保全・活用						
	基本施策	03	(3) 歴史・文化資源の有効活用						
事業類型	(ソフト系) 自主的事業		評価対象	■	経費区分	施策経費	支出区分	負担金	無
副施策	1	-	2	-	実計対象	■		補助金・交付金	無

事務事業の概要 記入者 堀江隆之 内線 3461

事業期間 毎年 平成 28 年度 ~ 年度 対象 その他

法令 有 文化財保護法 例規 有 筑西市文化財保護条例

関連計画等

事業の目的
この事業によって対象をどのようにしたいのか
市内に所在する歴史・文化資源、特に都市計画マスタープランの歴史交流拠点「にいばりの里」に所在する国指定史跡新治廃寺跡・市立農業資料館を一体的に有効活用し、歴史交流拠点、市の東の玄関口として市内外へPRを進め、文化財の保護とともに、地域の活性化、賑わいの創出を図ることを目的とする。

具体的な事務事業の内容、手法、手順

全体事業概要
平成28年度…「にいばりの里」の先進事例調査、PR活動（パンフレット作成）
平成29年度…「にいばりの里」の先進事例調査、PR活動（パンフレット作成、イベント実施）
平成30年度…新治廃寺跡保存活用計画策定（1年目：史跡の測量）
平成31年度…新治廃寺跡保存活用計画策定（2年目：保存活用計画書の策定）

29年度事業実績
・小学生向け「にいばりの里」パンフレット・缶バッジを作成し、PR実施
・農業資料館での火おこし体験・資料館見学イベントの開催
・先進事例の調査（足立区、太田市、伊勢崎市）

事業費の内訳（千円）

		総事業費	平成28年度 実績		平成29年度 実績		平成30年度 予算	
事業費	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	2,000	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	
		差引：一般財源	0	313	376	2,285		
事業費計(A)		0	313	376	4,285			
人件費	従事職員数(人) [正規：臨時嘱託]		0.65	0.00	1.37	0.00		
	人件費(B) [正規：臨時嘱託]		5,334	0	11,170	0		
フルコスト(C) = (A) + (B)			5,647		11,546			

指標の推移

活動指標 1	指標名	先進事例の調査研究				単位	件
	目標値	3	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等	各地の先進事例の調査研究を行ない、広く情報収集を図る。					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率(%)	平成30年度見込	
実績		2	3	100.0	2		
成果指標 2	指標名	農業資料館の活用				単位	人
	目標値	1,000	目標年度		目指す方向	↑	
	考え方・式等	来館者数					
	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	達成率(%)	平成30年度見込	
実績	620	616	799	79.9	850		
目標に対する達成状況の評価	農業資料館において、様々なイベントを実施し、にいばりの里のPRを図ることができた。						

状況の変化等

社会情勢の変化	近年、文化財を保存・管理するだけでなく、学校教育や市民の学習活動と連携を図りながら活用し、広く発信することが求められている。		
市民等からの意見・要望	「にいばりの里」に所在する農業資料館について、アクセス道路が狭い、駐車場がない、場所がわかりづらいなどの意見がある。		
市以外での類似事業	● 無	○ 有	→ □ 国 □ 県 □ 民間 □ その他
	実施機関名		事業名

結果評価

評価の観点	
評価内容	評価結果
目的の妥当性	
1. 事務事業の目的は、総合計画の施策目標に合致しているか。	合致している
2. 市が主体的に行うべき役割の事業か。	行うべき事業である
3. 市民ニーズ等を反映しているか。	反映している
4. 特定の個人や団体に受益が偏っていないか。	偏っていない
5. 市民との役割分担は適切か。	該当しない
事業の有効性	
1. 類似事業との再編や統合はできないか。	他に該当する事業がない
2. 成果を向上させる余地はないか。	ある (少しはある)
3. 廃止・休止した場合の影響はあるか。	影響がある (大)
事業の効率性	
1. 成果を落とさずに事業費を削減できる余地はないか。	ない
2. 成果を落とさずに人件費を削減できる余地はないか。	ない
3. 受益者の費用負担や受益機会に適正化の余地はないか。	該当しない
事業の現状・担当コメント (評価に対する課題等)	「にいばりの里」については、平成28・29年度に先進事例調査、PRパンフレット及び缶バッジの作成を実施しており、平成30年度から、文化庁補助金を活用して国指定史跡「新治廃寺跡」の保存活用計画の策定に着手する。保存活用計画は2カ年で策定を予定しており、1年目の平成30年度は、史跡の測量を実施し現況地図を作成する。2年目の31年度は、計画策定委員会を設置し保存活用計画書を作成する予定である。

課長評価

課長意見	「にいばりの里」は、これまで実施してきた先進事例調査やPR活動（パンフレット・缶バッジ配布）を踏まえて、今後は新治廃寺跡の保存活用計画の策定に入る。保存活用計画の策定にあたっては、文化庁及び県教育委員会と綿密な協議を行うとともに、考古学や古代史の専門家等の意見を伺いながら策定を進める。また、事業の進捗状況を公表し、地元自治会や地権者等と連携を図り、より効果の高い事業を目指す必要がある。 【進捗状況：順調である】
来年度の事業の方向性	拡充
改善策	内容
	改善の期間